

支部報告

関東支部

2019年関東支部総会＋公開講演会「色の始まりと広がりー遺伝子からブランディングまで」

Report of the Kanto Branch General Assembly and the Public Symposium

中島 由貴 (関東支部幹事 / 女子美術大学大学院)

青空に桜が舞い、春らしい陽気となった2019年4月13日(土)、早稲田大学早稲田キャンパスにおいて日本色彩学会関東支部総会が開催されました。出席37名(委任状含む)のもと、議事は滞りなく進み、全議案が承認されました。

引き続き同会場で、関東支部による公開講演会「色の始まりと広がりー遺伝子からブランディングまで」が開催されました。本講演会は、平成最後の公開講演会にふさわしく「色の始まりと広がり」という大きなテーマのもと2名の先生をお招きし、「色覚遺伝子」、「ブランディング」の視点からそれぞれ講演いただきました。

参加者は55名(正会員47名、名誉会員2名、賛助会員1名、学生会員2名、一般3名)であり、活発な議論が行われた講演会となりました。以下にその概要を示します。

「色覚遺伝子研究の最前線」

はやし たかあき
林 孝彰 先生 (東京慈恵会医科大学)

東京慈恵会医科大学眼科学講座准教授の林先生より、「色覚遺伝子研究の最前線」と題し、講演いただきました。iPS細胞、ゲノム編集など……遺伝子に纏わるトピックスをニュースで目にしない日がないほど、近年の医学の進歩は目覚ましいものがあります。現役の眼科医である林先生は、色覚遺伝子について、臨床と研究の両面から日々患者さんと向き合っておられます。

ご講演は、遺伝子の構造・転写・翻訳など基礎的なお話にはじまり、色彩学を学ぶ私たちにもなじみのある色覚に関する細胞、ヒト色覚遺伝子研究の歴史について(驚くことに、色覚の遺伝的なメカニズムは1986年～1992年の7年ほどでほぼ解明されたそうです)、そして、先生のご専門である“正常色覚の遺伝子型と多様性”、“先天赤緑色覚異常の遺伝子型”、“先天赤緑色覚異常のトピックス”まで、大変充実した内容で専門用語なども易しく解説いただきました。



総会風景

特に、遺伝子配列の個人差が色覚にわずかながら影響を与えているという解説は興味深く(正常色覚の場合でも赤視物質遺伝子の特定の塩基配列に違いがあり、その違いが色覚に影響するなど)、ヒトの色覚の多様性を改めて認識しました。

また、林先生がご自身の目標であり、ミッションとして挙げられていた「色覚の遺伝子や遺伝性網膜疾患の研究が、自分の目の前にいる患者さんの原因遺伝子変異の特定につながる」というお言葉がとても印象的でした。今後の林先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

「ブランディングと色と時代」

いえだ おさむ
家田 律 先生 (ブランディングアドバイザー)

ブランディングアドバイザーの家田先生より、「ブランディングと色と時代」と題し、講演いただきました。家田先生は、誰もが目にしたことのある企業をはじめ、ロゴマークが一新された公益社団法人色彩検定協会のブランディング事業も手掛けられています。

ご講演では、ブランディングアドバイザーという仕事について、また、そもそもブランドとは何か、ブランディングに必要なもの、ブランドマークのタイプ、ブランディングに対する色の役割など、事例を交えながら紹介

いただきました。

昨今、ブランドは高級店の代名詞のようにも使われていますが、そもそもブランドの言葉の起源は、放牧している牛の目印として推した“焼印”に由来します。ブランドについて、家田先生は「企業または製品、サービスに独自性を与える有形無形の特徴、その総和」とお話してくださいました。様々な例を拝見しながら、家田先生が携わってこられた事業は、まさに上記の言葉を体現しているものだと感じました。

また、色はブランディングにおいて分類機能（例えば、路線図）と表現機能（例えば、国旗）を持ち、識別や独自性を表現する基本のデザイン要素であることが紹介されました。金融機関やガソリンスタンド（ガステーション）のブランドマークやブランドカラーを例にそれぞれのブランディング戦略を解説いただき、色がブランディングにとっていかに重要なのかを改めて知ることができました。今後は、ブランドカラーがもつ意図について、これまで以上に注目していきたいと思えます。

交流会

惜しまれる中、大盛況のうちに講演会は閉会し、その後、会場近くのハワイ料理店で交流会が開催されました。交流会には 36 名が参加し、講演会の熱気冷めやらぬままに引き続き活発な議論と交流が行われました。

林 孝彰 氏：

東京慈恵会医科大学眼科学講座准教授、医師 博士(医学)。先天色覚異常についての分子生物学的研究や、網膜変性などの遺伝性の眼疾患に対する最新の遺伝子診療など、研究と診療の両面から精力的に活動をされている。色覚外来を担当され正しい色覚検査法に関する啓蒙普及活動も行われている。

家田 律 氏：

世界最大級の規模と実績をもつブランディング・デザイン会社「ランドーアソシエイツ」において 30 年にわたりブランドデザインに従事。日本航空、エネオス、イオン、日本郵政などのディレクションを担当。現在は独立し、フリーランスとして様々なブランディングプロジェクトに参加されている。



林先生のご講演の様子



家田先生のご講演の様子